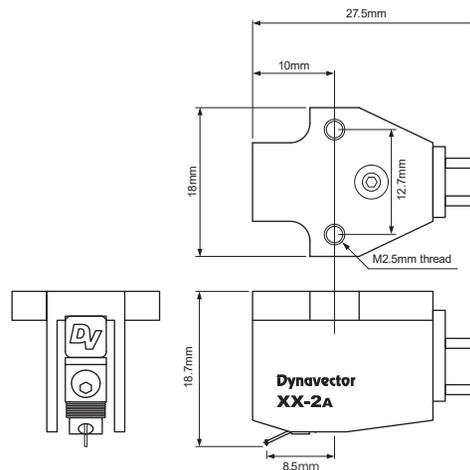




New
2024

Dynavector
Specially Annealed Magnetic Circuit
MC Phono Cartridge
XX-2A
sounds more natural and dynamic



< 仕様 >

形式	低出力MCカートリッジ (フラックスダンパー&アルニコマグネット採用)	出力電圧	0.28mV (at 1KHz,5cm/sec.)
チャンネルセパレーション	30dB(at 1KHz)	チャンネルバランス	1.0 dB(at 1KHz)
周波数特性	20 - 20,000Hz (±1dB)	コンプライアンス	10mm/N
針圧	1.8 - 2.2g	インピーダンス	R=6Ω
推奨負荷インピーダンス	30ohms以上	カンチレバー	6mm長0.3φ ソリッドボロンカンチレバー
スタイラス	0.14×0.08mm PFラインコンタクト針	自重	8.9g

【ダイナベクターカートリッジの伝統】

ダイナベクターは1978年の創業以来、高級オーディオメーカーとして数多くの高性能カートリッジを世界に送り出して来ました。開発にあたっては創業者(※1)の築いた伝統「学術的工学理論に基づいたアプローチ」を常に心がけています。極細線高出力コイルや宝石カンチレバーなど独自開発の高性能振動系に始まり、1990年代からは磁気回路の重要性に着目し、磁束(Flux)を安定させるフラックス・ダンパー(※2)、磁石の磁束変動を低減させるソフト・マグネティズム(※3)を開発しカートリッジに採用してきました。

そして2024年、新たに磁気回路の物性を理想的な性能に高め、飛躍的な音質向上に成功しました。

【新開発・特殊焼鈍磁気回路】

高性能MCカートリッジには優れた振動系が必要なのは言うまでもありません。カンチレバー、コイル、ダンパー、高剛性ボディなど各要素に優れた性能が要求されますが、カートリッジを構成する磁気回路も極めて重要な要素です。カートリッジの出力信号は磁気回路の中で振動系が動くことにより発生します。磁石の生む磁束の中でコイルが振動し発電しているのです。

磁束は高密度でなおかつ安定した状態でなければ良好な出力は得られません。当社カートリッジの磁気回路には純鉄を採用しています。純鉄は透磁性が高く磁束を高密度で維持しますが、特にその安定性が優れており歪みの無い出力を得るには最適な材料と言えます。しかしパーツとして加工成形される際、塑性変形により原子レベルで結晶構造が歪められ透磁性が大きく損なわれてしまいます。

歪んでしまった結晶構造を再生するには焼鈍(しょうどん Annealing)いわゆる焼きなましが行われます。加工成形されたパーツを加熱冷却することで透磁性を回復させる工程を磁気焼鈍と言いますが、汎用的な磁気焼鈍では結晶構造の歪みは完全には除去出来ず透磁性も完全には回復しません。パーツの材質や大きさ形状等により磁気焼鈍の条件は細かく異なるのです。

新型カートリッジの開発にあたり、焼鈍温度、焼鈍環境、加熱時間、加熱率、冷却率など磁気焼鈍の最適化にこだわり、純鉄ならではの優れた磁気性能を引き出すことに成功しました。

新しい理想的な磁気回路により、歪の無い優れた解像力、のびやかな広域の表現、音場空間の広がり、音質の全てが飛躍的に向上しました。

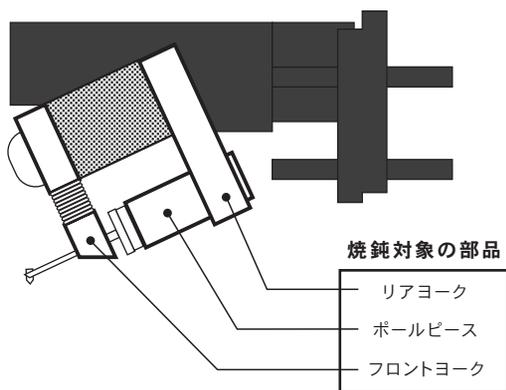
優れた振動系と理想的な磁気回路が生み出すハーモニー。

今まで以上に自然で躍動的なダイナベクターXX-2Aカートリッジの音をお楽しみ下さい。

【磁気焼鈍の効果(イメージ図)】

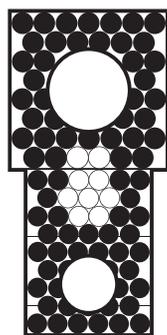
加工過程で歪められた結晶構造が焼鈍により再生され透磁性が回復する。

< MCカートリッジの基本構造 >

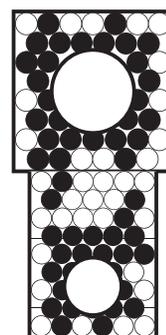


< フロントヨーク(イメージ図) >

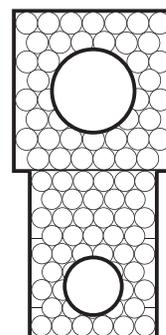
- 結晶構造が保たれている箇所(透磁性: 高)
- 結晶構造が歪んだ箇所(透磁性: 低)



焼鈍前
音質×



汎用的な磁気焼鈍
音質○



特殊磁気焼鈍
音質◎

(※1) 創業者・富成襄(1927~2002)、東京大学工学博士、東京都立大学機械工学科元教授

(※2) FLUX DAMPER: カンチレバー・コイルの振動発電により生じる磁束(Flux)の乱れを閉鎖コイルをフロントヨークに巻付ける事で磁束ダンパーとして打消し磁束を安定させ、より自然な音を出力する。(特許取得)

(※3) SOFTENED MAGNETISM: ネオジム等の高出力磁石は内部磁気抵抗が極めて高いため磁束密度変動が大きく音質の劣化を生みやすい。磁石に高透磁性体を付属させ磁力は維持したまま磁気回路の磁気抵抗を低減せしめ磁束変動を防ぎ音質を向上させる。(特許取得)